



ITP派遣報告

20世紀前半ドイツの知的状況におけるアジア的モメント
博士後期課程1年 藁科智恵

1

研究概要

ルドルフ・オットー(1869-1937)

- ・『聖なるもの』(*Das Heilige: über das Irrationale in der Idee des Göttlichen und sein Verhältnis zum Rationalen*)
⇒ベストセラーとなる
- ・「宗教的人類同盟 (religiöser Menschheitsbund)」の設立
- ・エラノス会議への関与

2

研究概要

- ・ 同時代人の精神的状況分析
（ゲオルク・ジンメル、パウル・ティリッヒ等）
- ・ スイス・アスコーナに見られるコミュニティ

⇒ アジア・アフリカの宗教・文化が視野に入ってくることにより、ヨーロッパの精神状況はそれとどのように向き合っていたのか。

（アスコーナでの現象を素材として）

3

派遣先

ドイツ・マールブルク大学
(2008年8月25日～2009年1月25日)
宗教学部 エディット・フランケ教授

オランダ・ライデン大学
(2009年1月25日～2月24日)
宗教学部 アップ・デ・ヨング教授

4



マールブルク大学 Religionskundliche Sammlung



アスコーナ



スイス・アスコーナCasa Anatta

7

派遣期間中の流れ

2008年

8月後半 ドイツ・マールブルク到着

9月 諸手続き、語学コース開始

10月 冬学期開始、シンポジウム参加
(ボーフム大学)

2009年

1月 オランダ・ライデンへ移動、
諸手続き

2月後半 日本到着

8

派遣成果

- ・ 資料収集（マールブルク大学大学図書館・オットーアルヒーフ）
- ・ 受入教官からの指導
- ・ 研究者とのネットワーク構築（シンポジウム等への参加）

9

今後の課題

- ・ 資料、文献、情報の整理
- ・ 論文として発表

10

ご静聴ありがとうございました

